

第 1 回役員会議事録

日時：平成 21 年 4 月 12 日（日）13：00～17：00

場所：五反田事務所

役員：中山・野嶋・小泉・高橋・田村・野並・正木・小島・濱田・リボウイツ

事務局：鈴木・大川（記録）

1. 事務局体制について（資料 1-1）

中山会長より、資料にそって説明された。

- ・五反田事務所は、庶務の武内氏・東郷氏が、週 4 日体制（両者が 2 日づつ）で勤務する。
- ・役員会には、福島県立医科大学の事務局より 2 名（難しい場合は 1 名）、および五反田事務所の東郷氏（本日は欠席）が出席する予定である。
- ・事務局体制について、資料 1-1 のとおりでよいか諮りたい。承認頂ければ、福島県立医科大学看護学部の教員については、大学側に兼業届けを提出するようにしたい。
→異議なく承認される。

2. 平成 20 年度事業活動報告

中山会長より、「平成 20 年度事業活動報告書」が作成されているが、この報告は前会長の井部先生からして頂くということで良いのかと確認され、野嶋副会長より、前任者の任務は終了したので、活動報告は新メンバーにお願いすることになるとの回答があった。よって、総会では、中山会長より「報告書を配布したので見て下さい」と伝えることとなった。報告書は各大学に 4 部配布する。

3. 規約・申し合わせ事項の検討

中山会長より、今回は議案がないので保留とする旨伝えられた。

4. 平成 21 年度活動方針

これまでのものに、1)組織強化の問題と、2)法人化について本格的な検討を始めることの 2 点を加えることとした。中山会長が文章を作成し、役員へメールで送り、確認して頂くこととなった。

なお、上記の課題については、以下のような意見交換が行われた。

1)組織強化の問題について

- ・この組織の継続性と安定性の両面から、全面的に組織のあり方を考えた方がよいのではないか。それを検討する臨時委員会を作ることも必要ではないか。（田村）
- ・次の総会でかけて認めてもらって、役員を選考という形になるので、今年度の総会から方向性を出しながら進めて行かないといけない。（野嶋）
- ・役員任期が 3 年ぐらいだと考えることができるが、今度の総会というと、4 月に任期が始まって、5 月には総会となるので、あまり準備を高めて総会に臨むことができない。（田村）
- ・来年の総会には、次の役員を誰にするか、選んでいないといけない。（中山）
- ・そういう意味で、任期 2 年というのも、継続性と安定性という面からはどうなのかという議論もあるかもしれない。（田村）

2) 法人化についての検討の開始について

- ・前会長の井部先生より、法人化検討委員会を作って動くようにと引き受けたものである。法人化を目指して、この事務所を開いたので、法人化検討委員会なり、推進委員会を作って欲しいと引き継ぎ事項の中にあった。(中山)
- ・法人化のことは今動いている最中である。5年間で決着をつける予定のようだ。(小島)
- ・今の段階で、本当にこの協議会が法人化に向けて動くのがいいか、気になっている。(田村)
- ・総会では、法人化にむけて検討するという事になっている。(野嶋)
- ・法人化するかどうかも含めて検討をし、情報を整理していかなければならない。(中山)
- ・昨年度多少検討して、定款は作った。(野並)
- ・前会長は、法人化しないと、事務所を借りるにあたって、会長の個人名義で借りなければならないことと、研究の委託を受けられないという2点を気にしていた。(野嶋)
- ・社団法人で登録をしてしまうのも、1つの手ではあるだろう。(田村)
- ・認証評価の問題やCNSの認定機構の問題もからんでいるのだと思う。(中山)

5. 役員の役割分担について (資料2・追加資料：中山メモ)

1) 会長推薦の役員(規約第5条の4)について

中山会長より、会長推薦の役員として、リボウィッツ先生が推薦され、役員会での承認が諮られた。
→異議なく承認される。

中山会長より、もう1名の会長推薦の役員の選出について、役員を全国各地から選出するという観点から考えると、現在「九州沖縄地区」と「日本海側」の役員がいないのでその地域から推薦したい、データベースを担ってくれる役員として選びたい、公立大学の役員が多いのでそれ以外の国立または私立の大学から選びたい旨説明され、適任者の候補について諮られた。

→上記地域の大学について検討されたが決定には至らず、会長が引き続き検討することとなった。

2) 監事(規約第5条の5)について

中山会長より、監事を小島先生、濱田先生にお願いしたい旨、説明される。

3) 副会長について

中山会長より、副会長は前年度の副会長である野嶋先生にお願いしたい旨、説明される。

4) 委員会の担当

中山会長より、追加資料(中山メモ2頁目)にそって、各委員会の分担案が説明された。

(1) 専門看護師教育課程認定委員会の委員長の選出について

中山会長より、専門看護師教育課程認定委員会の委員長の選出について、次のような説明がされた。

- ・日本看護系協議会規約の第4条第2項に、「協議会は各会員校から代表として選出された1名の看護学専門の教員によって運営する」となっており、協議会の役員も各大学の代表者によって構成されることとなる。
- ・また、日本看護系協議会申し合わせ事項の第10条第2項に「常設委員会の会務は各幹事が担当する」と書かれている。
- ・さらに、専門看護師教育課程認定規程の第4条第2項には、「委員会に委員長をおき、委員長は委員の互選によって選出する」と規程されており、委員長は互選で決めることになっているので、必ずしも役員会の幹事が委員長を務めることにはなっていない。
- ・今年度は、委員会において田中美恵子先生が委員長に選ばれているが、田中先生は東京女子医大では学部長ではない。もし、田中先生が学部長であれば、会長推薦の役員となって頂き、委員会の活動をすすめていってもらいたいと考えていたが、女子医大の代表者ではないため、そのようにはできない。

・よって、委員長は選出された田中美恵子先生にお願いし、担当の幹事を専門看護師教育課程認定委員会の委員である小島先生か野嶋先生にお願いしたいと考えた。しかし、小島先生には監事をお願いしており、委員会の担当は幹事でなければならないため、副会長（副会長は幹事もなるため）の野嶋先生に、専門看護師教育課程認定委員会を担当して頂きたい。

上記について質疑が行われ、「常設委員会は規約第9条の一～六に挙げられている委員会であること」「各委員会の委員長は役員でなければならないとは規定されていないこと」「以前にも専門看護師教育課程認定委員会の委員長が役員以外から選ばれたことがあり、委員長が役員会に出席していた経緯があるが、それは大変なので、役員が委員会に出席してパイプ役を担っていた時期があったこと」が話し合われた。

以上の結果、今年度の専門看護師教育課程認定委員会の委員長は田中美恵子先生、担当幹事は野嶋先生とし、必要な時には委員長の役員会への出席を求めるということになった。

(2)各委員会の担当役員について

各委員会の担当役員は以下のように決定された。

- ・専門看護師教育課程認定委員会（常設）：田中美恵子委員長・野嶋先生（分掌幹事）・小島先生
- ・高等教育行政対策委員会（常設）：野嶋委員長
- ・FD委員会（常設）：正木委員長
- ・看護学教育研究倫理委員会（常設）：小泉委員長
- ・広報・出版委員会（常設）：野並委員長
- ・役員推薦委員会（常設）：野並委員長
- ・高度実践看護師制度推進委員会（臨時）：田村委員長
- ・看護学教育評価機関検討委員会（臨時）：高橋委員長
- ・国際交流推進委員会（臨時）：リボウィッツ委員長
- ・法人化検討委員会（臨時）：リボウィッツ委員長・中山先生・小島先生・濱田先生・田村先生
- ・データベース検討委員会（臨時）：会長推薦の役員（未決定）
- ・組織整備検討委員会（臨時）：野並委員長・中山先生

(3)役員の任期について

役員の任期について、以下のような意見交換が行われた。

- ・役員の任期は2年間とする。但し、委嘱状は1年毎に出している。理由は、大学の代表者が変わる場合があるからである。
- ・役員は半分ずつの入替と聞いているが、それは役員推薦委員会からの推薦によって決まってくる。但し、役員の継続は2期までなので、4年を超えることはできない。また、推薦校に意向の確認をしたり、選挙を実施する関係から、半分ずつの入替とすることが難しくなっている。今年度は3名しか残っていない現状にある。
- ・任期4年として、半数改正とするとしたらよいのではないか。
- ・もう少し役員数を増やして、半分半分にすることはできないか。
- ・国立、公立、私立を3：3：3の割合にするのがよいのか、地域別の方がよいのか。
- ・選挙で行う場合は、上記のようにはならない。
- ・会長の推薦枠を増やしていったらよいのか。
- ・看護系の大学数が増え、母集団が変わったので、役員の選び方についても、変えていかないといけないのではないか。

6. 平成21年度事業活動計画の検討

中山会長より各委員長へ、委員会のメンバーを選出し、「平成21年度事業活動計画書」（資料3）へ記載の上、4月30日までにメールで提出して頂きたい旨、依頼された。そして、提出された活動計画の内

容を一覧表にして、次回の役員会で最終確認することとした。なお、役員以外の先生については、一人の人が複数の委員会に入ることがないように、委員会間での調整を図っていきたいことが伝えられた。

7. 平成 21 年度予算案について（資料 4）

中山会長より各委員長へ、各委員会の今年度の予算について、「平成 21 年度事業活動計画書」（資料 3）の活動費の欄へ記入し、提出して頂きたい旨、依頼された。

大川（会計担当）より、前年度（平成 20 年度）の決算額（概算）が資料 4 に示されていること、本日配布の資料 4 は参考資料であり、今年度の予算案については、各委員会から提出される「事業活動書」の活動費を踏まえて作成し、次回の役員会で諮りたい旨、説明された。また、単年度黒字を目指して、予算を考えていく方針であるためご協力頂きたいこと、各委員会に会計担当の先生を決めて頂きたいことが伝えられた。

中山会長より、委員長が所属する大学に委員を 1 名置くことができるので、その先生に庶務（会計）を担当して頂くという形になると思う旨、伝えられた。

8. 平成 21 年度専門看護師教育課程認定手続きの説明会について（資料 5）

野嶋担当幹事より、平成 21 年度専門看護師教育課程認定手続きの説明会を、例年どおり、総会の前に 10:00～12:00 にかけて行う予定であり、説明会の案内を総会の案内と一緒に会員校へ送って頂きたい旨、説明された。また、10:40～12:00 は各分野に分かれての説明となるため、部屋の確保をお願いしたとの申し出があった。

中山会長より、全体説明の会場は、S-301 講堂ではなく N-301 講義室であると訂正される。

9. 平成 21 年度総会の運営について（資料 6）

1) 学長の挨拶について

中山会長より、会長挨拶のところで、学長挨拶を入れたいという意向が示された。理由として、日本看護系大学協議会の仕事に、大学の事務局を巻き込むためには、看護学部のレベルではなく、大学をあげて引き受けたという形にした方がよいからである。

→賛同され、学長に挨拶を依頼することとする。

2) 懇親会について

中山会長より、懇親会は行わないことが説明された。

3) 平成 21 年度の新会員校の紹介について

中山会長より、新会員校 13 校を紹介することし、国公立私立大学一覧表を資料に入れることが説明された。

4) 平成 21 年度役員の紹介について

中山会長より、平成 21 年度役員の紹介を行うことが説明された。

5) 議題について

(1) 平成 20 年度総会議事要旨（案）について

中山会長より、1 年前の平成 20 年度総会の議事録について、諮ることになることが確認された。

(2)平成 20 年度活動報告および(3)データベース（実態調査）の報告について

中山会長より、平成 20 年度活動報告について報告は誰が行うことになるのか確認され、野嶋副会長より各委員会の報告は、新委員長が行うことになっていると回答された。よって、各委員会の報告者は下記の通りとなった。

- ・専門看護師教育課程認定委員会：野嶋先生（委員長ではなく担当幹事が行う）
- ・高等教育行政対策委員会：野嶋先生
- ・FD委員会：正木先生
- ・看護学教育研究倫理委員会：小泉先生
- ・広報・出版委員会：野並先生
- ・役員推薦委員会：野並先生
- ・高度実践看護師制度推進委員会：野嶋先生（野嶋先生の申し出により、旧委員長が行う）
- ・看護学教育評価機関検討委員会：高橋先生
- ・国際交流推進委員会：リボウィッツ先生
- ・12thEAFONS2009 開催委員会：中山先生（新会長が行う）
- ・事務所整備プロジェクト：中山先生（新会長が行う）
- ・データベースについて：中山先生（新会長）または会長推薦理事（新委員長予定）

会計報告に関しては、前年度担当者に行って頂く必要があることが確認され、下記のように報告を依頼することとなった。

- ・平成 20 年度決算報告：聖路加看護大学の会計担当者
- ・平成 20 年度監査報告：平成 20 年度の監査の先生（中西睦子先生・深山智代先生）

さらに中山会長より、委員会報告についても、前委員長が総会に出席する場合には、活動報告を行って頂きたいという意向を、井部前会長に伝えることが提案され、承認された。

なお、今まで行われてきた前年度の活動報告を新年度の役員が行うというやり方は妥当ではないという意見が多数発言され、役員の任期を総会終了までとしたら良いのではないかという案も出され、この件については、今後、組織整備検討委員会にて検討していくこととなった。

(4)平成 21 年度庶務報告について

平成 21 年度庶務報告は中山会長が行うこととなった。

(5)平成 21 年度活動計画について

各委員会を分掌する役員が行うこととなった。

なお、臨時委員会については、今年度より新たに、「法人化推進委員会」「モデルコアカリキュラム作成委員会」「データベース検討委員会」、さらに「組織整備検討委員会」を加えた形で資料を作成することが確認された。

(6)看護系大学の教育等に関するデータベース（実態調査）について

議事の 1 項目とするのではなく、「データベース検討委員会」の活動計画の中に入れ込み、今年度も同様の調査を行うので協力をお願いしたいと依頼することとする。

(7)平成 21 年度日本看護系大学協議会規約および申し合わせ事項の改正について

日本看護系大学協議会規約申し合わせ事項の改定については、総会にて野嶋先生が説明することとなった。改定案については、すでに前年度の役員会で決定されており、以下のような内容であることが野嶋先生より説明され、さらに今年度の役員会で検討の上、総会にて承認を得たいとのことであった。なお、この案が通ると選考の時期をもう 1 年延ばす事が出来る旨、野嶋先生より説明された。

<改正案の概要>

①役員の数 を 3 名増やすよう、規約を改正する。

理由：会員校が増えたことに伴い、会員校からの声を反映しやすくするため
活動の活性化を図ることが必要であるため

前会長の井部先生の一つの目標が組織評価であったので、それもふまえて検討した

②会計年度は3月末、但し役員交代は総会后とすると、申し合わせ事項を改正する。

→原案について、野嶋先生より各役員にメールで送付し、次回役員会で再度検討することとなった。

(8)平成21年度日本看護系大学協議会電子名簿について

平成21年度日本看護系大学協議会電子名簿について依頼する。

(9)平成21年度予算案について

予算案は、審議事項とする。

6)総会のタイムスケジュールについて

中山会長より、以下のように案が説明された。

- ・議事までを2時間（13:00～15:00）で終了させるよう進行することとする。
- ・Coffee Breakを30分とる。
- ・後半は、「看護学教育の動向と課題」について、厚生労働省野村課長と、文部科学省医学教育課新木課長に講演を依頼している。全体で1時間45分（15:30～17:15）を予定し、講演（各40分を予定）では、最新の情報と日本看護系大学協議会に対してどのような期待をしているかを話して頂き、その後に質疑応答を入れる。
- ・総会終了時間に合わせて、大学から福島駅行きのバスをチャーターする。予算的には、今年度は会場費が不要のため、その分で賄える。

7)総会に関するその他の確認事項

午前中に委員会を開催することは可能であるが、案内、昼食等の準備があるので早めに決めること。また、総会の案内はできるだけ早急に郵送すること等を確認した。

10. その他

1) EAFONS と日本看護系大学協議会の関係について

- ・中山会長より、現在、EAFONS の日本の理事である片田先生（兵庫県立大学）の任期が終了するにあたり、片田先生ともう一人の理事である村嶋先生（東京大学）より、日本看護系大学協議会に EAFONS とのつながりをもって欲しいという意向が示され、本協議会の会長である中山が理事を引き受けることになったことの報告があった。
- ・これに関連し、本協議会と EAFONS の関係について討議がなされ、国際交流の一環として、今後検討を続けていくこととなった。

2) 日本看護系協議会に送られてくる各種お知らせへの対応について

中山会長より、現在、GANS（Global Alliance Nursing Education Scholarship）からの案内状が届いており、このような協議会宛の外部からの情報を会員校にどのようにアナウンスしたらよいのだろうと、問題提起がされ、討議された。

その結果、日本看護系大学協議会宛に送られてきた情報は、HP に掲載することとし、総会にて「随時 HP を見て下さい」とアナウンスすることとなった。

3) 平成21年度先導的の大学改革推進委託事業実施計画書について（追加資料）

中山会長より、先導的の大学改革推進委託事業について以下のような説明があった。

- ・看護系大学が 180 校になったことに伴い、保健師の実習が充分できなくなっている現状にある。文部科学省は、設置認可時に保健師の国家試験を受けるための厚生労働省から出されている要件をどのようにするかという問題に直面している。
- ・保健師を選択制とすると、看護学校と大学の違いは何か、大学がこれだけできることの意味はどういうことかということも含めて、大学が質の担保をするためのコアカリキュラムを作る必要があり、先導的の大学改革推進委託事業に応募した。
- ・この事業については、高知女子大学（野嶋先生）から申請をしてもらい、日本看護系大学協議会の会員校全体で取り組むという形で行うことになる。

次回役員会の日程について

日時：5月15日（金） 14：00～

場所：五反田事務所